

編集後記

- ◇ 筆者が受けた2012年の年賀状には、例年よりも自筆の書き込みが多かった。中でも公務員などを退職した後、農業関係の経験を活かして、就農している者が意外と多いことに気付いた。その多くは趣味の域を超えて農産物を市場出荷し、地域リーダーとしても活躍するプロ的な農家となっている。賀状からは“農的暮らし”を楽しみ、“生涯一百姓”の心意気が伝わってくる。日本の農業は、多様なこれらの人材によっても担われている。そのことを、年の初めに再認識させられた。
- ◇ 本誌111号の特集テーマとして、「平成23年産いも類の生産概況と課題」を取りあげた。サツマイモとジャガイモに関し、全国と主産道県である北海道、茨城県、千葉県、鹿児島県における生産概況と今後の留意点などについて、関係者に執筆いただいた。
- 平成23年3月11日の東日本大震災以降は、特に、他作物と同じくいも類についても福島原発事故に伴う放射性物質の影響が懸念されてきた。この特集の企画段階では、いも類における放射性物質への対応についても可能な範囲での記述をお願いしていた。しかし風評被害などの微妙な問題等もあって、結局、農水省の大山氏からの簡単な状況報告にとどまった。
- ◇ (財)いも類振興会の平成23年度第2回評議員会、理事会は、2012年3月27日に開催された。公益法人をめぐる水河期的な環境下で、平成24年度の事業計画と収支予算計画の承認を得た。また、財団法人のいも類振興会は、平成25年4月1日から一般財団法人へ移行する予定だ。その移行手続きに関する議案も承認された。平成24年度の事業運営に対し、引き続き皆様のご支援・指導を賜りたい。
- ◇ ジャガイモ事典は、総説で紹介したとおり刊行が叶い、本年3月上旬から全国で発売されている。既刊のサツマイモ事典と併せて、“双子のいも事典”の誕生となった。双子のいも事典が広く活用されることを願っている。

(狩谷 昭男)

- (財)いも類振興会における人事異動のお知らせ。

退職	平成24年3月31日付	需要推進部長	堀尾 英弘
採用	平成24年4月1日付	需要推進部長	中澤 健雄

いも類振興情報 第111号

2012(平成24)年4月15日発行

定価 1部 500円
年間購読料(季刊) 2,000円

発行 財団法人 いも類振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225
E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp
郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社